

a la carte.

2022.12

あらかると

431



双葉町役場 新庁舎

双葉町の「いま」

双葉町の「いま」

福島県双葉町は2022年8月30日に原発事故による帰還困難区域のうち一部の避難指示が解除されました。これにより双葉町に住むことが可能になり、事故から11年を経て福島県のすべての町で住民が暮らせるようになりました。今回はそんな双葉町の「いま」をご紹介します。



双葉町役場

これまで役場機能を県内外へ移してきましたが、避難指示解除に合わせ、町内に新庁舎を開庁し9月5日から業務を再開しました。行政機能が町に戻ることに伴い復興への歩みを加速させていきます。



新聞配達／折込の再開

新聞配達が再開され、10月1日より双葉町への折込チラシの手配も可能となりました。50部からのスタートですが11月15日からは100部へ増となっています。双葉町で暮らす住民の方へ生活の大切な情報をお届けしています。

周辺市町村の配達状況

- ・広野町…700部
- ・楡葉町…1,300部
- ・富岡町・大熊町…700部
- ・浪江町…800部



JR双葉駅

2020年3月14日からJR常磐線が全線再開し震災の影響で運休が続いていた不通区間はすべて解消されています。双葉駅は新しく橋上駅舎となり、東西自由通路が整備され、駅前にはイベントなどにも使える広場が設けられました。



双葉町ダルマ市

毎年1月に行われている双葉町の伝統行事の1つです。縁起物の「双葉ダルマ」の販売や南北でわかれて巨大ダルマを引き合う「巨大ダルマ引き」などの催し物が行われます。震災後は避難先であるいわき市で開催されてきました。来年は震災後初めて、双葉町内での開催を予定しています。



東日本大震災・原子力災害伝承館

原子力災害を中心とした資料を展示・保存、震災の記憶の風化防止のための情報発信を行っています。2020年9月20日に開館し国内外から多くの方が訪れ、今年の10月には来館者15万人を突破しました。

双葉町産業交流センター

2020年10月1日にオープンしたこの施設はフードコートやレストラン、土産物店などの商業施設と貸会議室・貸事務所が入る複合施設です。



町民や町を訪れた方、企業関係者の方等、幅広い方々が交流する拠点となっています。



双葉町ダルマ市 2023年1月7日(土)・8日(日)

取材・写真提供協力：双葉町

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp>